

標 題 : Adherence to Mediterranean diet and prostate cancer risk in Sicily:  
population-based case-control study  
シチリア島における地中海食事の順守と前立腺がんリスク :  
住民に基づく症例-対照研究

---

著 者 : G. I. Russo, et al. (イタリア カターニア大学 泌尿器学科)

---

掲 載 誌 : Int J Impot Res. 2019 Jul; 31(4): 269-275.

---

要 旨 :

前立腺がん(PCa)は、世界中で2番目に多く診断されるがんでありがん死亡の6番目である。

地中海式食事パターンに従っている諸国は、他のヨーロッパ地域と比較して低い前立腺がんの発症率および死亡率と報告されている。

住民に基づく症例-対照研究が、2015年1月から2016年12月までイタリア南部カターニア市の単一施設で実施された。

合計で118人の前立腺がんおよび238人の住民に基づく対照が集められた。

対照は有意に高い地中海食事の順守であり、それは複数のサブグループ(年齢グループ、過体重および肥満の男性、現在の喫煙者、アルコール摂取、低および中程度の身体活動度を含む)で明らかであった。

前立腺がん症例は、対照よりも低い量の野菜(223g/日 対 261g/日;  $p=0.001$ )、豆類(34.26g/日 対 53.55g/日;  $p=0.003$ ) および魚(47.75g/日 対 58.3g/日)を摂取すると我々は認めた;

出現した他の違いは、アルコール摂取(12.37g/日 対 5.07g/日;  $p<0.01$ )、穀物(254.06g/日 対 235.94g/日;  $p<0.001$ )、乳製品(196g/日 対 166g/日;  $p<0.001$ )、および肉摂取(98.09g/日 対 70.15g/日;  $p<0.001$ )に関連した。

しかし、果物、豆類、およびオリーブ油の摂取に関して、症例と対照との間に統計的な有意差は認められなかった。

地中海食事スコアは、前立腺がんの低い可能性と直線的に逆相関した(オッズ比(OR): 0.86 [95%CI 0.77-0.96])。

特に、順守が最高のグループの人々は前立腺がんの可能性が78%低く、そしてスコアの1点ごとに14%低くなる。

総ポリフェノール摂取を調整したモデルが、地中海食事の順守と前立腺がんとの間の有意な逆相関をまだ示したが、その関連は直線的でなくスコアの1点上昇は有意でなかった(OR: 0.88 [95%CI 0.77-1.01])。

イタリア人男性の我々のコホートで、地中海食事の高い順守は前立腺がんの可能性と逆相関すると、我々は観察した。

---